



2014年度 都市住宅学会関西支部 総会・記念シンポジウム

日時：2014年4月26日（土）

会場：大阪市立大学 文化交流センター

都市住宅学会関西支部 2014年度 通常総会

13：00～13：45

第1号議案～第3号議案

都市住宅学会関西支部 2014年度 記念シンポジウム

14：00～17：00 （受付13：45～）

実践事例から考える住宅セーフティネットのあり方

成熟社会が進む一方で、さまざまな格差が広がっています。低所得や単身世帯の増加は大きな問題であるとともに、そこから抜け出すことができないというジレンマを抱えています。これまでの住宅政策は、核家族・持ち家という標準的なライフコースを前提としてきましたが、今やこのような標準的な家族よりもそれ以外の世帯の方が多くなっています。このような問題を踏まえ、国および都道府県は住生活基本計画において住宅要配慮者に対する住宅セーフティネットやストック活用を中心的課題として挙げています。住生活基本計画では、サービス付き高齢者向け住宅等を促進するとともに、生活支援や介護サービスなど支援を必要としている人々を支え自立を促す仕組みづくりについても言及しています。さらに、空き家を活用したシェア居住や交流拠点の整備についても模索しています。

今回のシンポジウムでは住宅および生活支援に取り組んでいる実践者から貴重な実践事例についてご講演していただきます。

14:00～14:50 基調講演

滝脇 憲（特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会 理事）

：「低所得・低資産高齢者の住まいと生活支援のあり方について」

15:00～15:40 パネリスト報告

滝脇 憲（前掲）

式 王美子（立命館大学政策科学部 准教授）

：「低所得世帯の居住移動及び住宅・居住地選択」

富永 哲雄（大阪市立大学大学院文学研究科 博士課程）

：大阪市西成区釜ヶ崎地域の現状と生活困窮者への支援のあり方

15:45～17:00 ディスカッション

コメンテーター 檜谷 美恵子（京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授）

司会 山口 健太郎（近畿大学建築学部 准教授）

◆ 参加費（資料代） 会員500円、会員外1000円、学生無料

懇親会

17：30～

会場：そじ坊 奥社

大阪府大阪市北区梅田1-8-7 大阪第一生命ビルB2F

会費：3,000円程度

■事前申し込み：事前申し込み不要。当日、受付までお越しください。

■委任状の連絡方法：総会に欠席される場合、必ず、下記「問い合わせ先」のE-mail（もしくはFAX）に委任状のご連絡をお願いいたします。

■問い合わせ先：都市住宅学会関西支部事務局 富永（とみなが）

TEL 06-6208-4488 FAX 06-6203-7184

E-mail:gakkai-west@osaka-kousha.or.jp



大阪市立大学文化交流センター

大阪市北区梅田 1-2-2-600

大阪駅前第2ビル6階